

磁器 よまんば!!

発行部数 815部

第15号

2017年

1月

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年11月11日、東京の日本橋近くにて「磁器土焼成基礎講座」を開催させていただきました。お忙しい中ご参加いただいたみなさまには改めて御礼申し上げます。

内容は、主に焼成後の冷め割れと貫入について、その原因と対策を解説しました。具体的には、素地と釉薬との相性、その良し悪しでどのような現象が起こるのか、相性を決める熱膨張係数は焼成条件でどのように変化するのか、などをお話し、冷め割れと貫入に対する対処法を述べました。

あわせて、釉薬の熱膨張係数を決定する化学組成について、ゼーゲル式を使って説明し、望む釉薬の熱膨張係数を得るために必要なゼーゲル式の方向性を示しました。

例えば、アルカリ成分の配分はCaOよりK₂OやNa₂Oを多く、さらにはK₂OよりNa₂Oを多くすることで熱膨張係数は大きくなる、ということなどです。

ありがたいことに当日は22名の方がご参加くださり、用意した会場が満席近くになってしまいご不便をお掛けしたかもしれませんが、熱心に聞いていただき、結果としては講座後の個別の質問時間も不足してしまいました。お答え出来なかった方には申し訳なく思います。

講座冒頭のビデオで音声が出ないトラブル、釉薬調合の事例不足や具体性の欠如など反省点がいくつかありましたのでこれらは修正し、次回以降さらにわかりやすくお伝



■ 社長のブログはこちら ■

<http://www.fromform.jp/blog/>



えできるようよう反映させていただきます。

最後になりましたが、当日急遽お手伝いいただいた、3Dプリンターを使っているデジタル陶芸プロジェクトを運営されている(株)トラストシステムの三田さまはじめ、ご協力いただいたみなさまに御礼申し上げます。ありがとうございました。

今回は、鑄込み成形についての講座を準備しているところです。日程等決まりましたら、あらためてこの誌面等にてお知らせいたします。

瀧野直幸

素地と釉薬の熱膨張係数の違いによる基本的な挙動

- ・素地 > 釉 → 冷め割れ、貫入割れ ※素地も釉も割れる
- ・素地 > 釉 → 貫入(貫入なし)
- ・素地 < 釉 → 貫入の恐れあり
- ・素地 < 釉 → 細かい貫入 釉のみに亀裂

このようなスライドを使ってお話ししました。

1月4日は長女の成人式でした。ここ嬉野市では、例年帰省の時期に合わせこの日に行われています。

長女は2月で二十歳になります。私が結婚したのが平成8年5月。その翌年の2月にこの子が生まれました。

私の両親、家内の両親ともに初孫でしたので、小さいころは両方からとてもとても可愛がられたものです。

この「ジキよまんば」の2号と4号の誌面に出てきたときは高校2年生なので、そのときから三年が過ぎたことになりましたね。時が経つのは早いものです。

現在は、福岡の大学で寮生活しながら、小学校の教諭になるための勉強をしています。

学生生活は楽しいようで、アルバイトをしたりしながら少しは社会に揉まれているようです。帰ってきたときに垣間見る成長ぶりが、親としては嬉しいです！



佐賀弁講座

NO.14

- ほとめく (訳)もてなす・千やホヤする
- とんこづく (訳)調子に乗る
- ととしか (訳)不器用・(目か)見えにくい

おじちゃん、かつこよかー！

急になん言いよつか目のとしゅうなったね？
(急になに言ってるんだ目が悪くなったのか?)

うんにやよ！(違うよ)

そがんほとめくぎ、とんこづくばい
(そんなに千やホヤすると調子に乗るよ)

お年玉くんしゃい(ちょうだい)

そがんこつか！
(そいうこつか！)

みなさんは河村瑞賢かわむらすいけんをご存知ですか？聴きしなから、私は歴史の教科書に載っていたなあぐらいいの記憶しかありませんでした。この小説は、河村瑞賢、のちに新井白石に「天下ならびなき富商」と言われる豪商となるその生涯を描いたものです。

彼が商人として自立する前、二十歳のときです。日銭を稼ぐための車力(荷運び専門の人足)を辞めて一旗揚げようとする中、「車力に戻れば人生それまでだ。肉体労働に明け暮れ、疲労した体を休めることで精一杯となり、商いのことを考えるゆとりなどなくなる。そんな人生は真

瀧野直幸

おすすめの本

「江戸を造った男」

伊東潤・著



っ平だ」と奮起します。この場面にすくみ共感しました。車力に戻る人生が、本来やるべき仕事に注力できていない自分と重なったからです。材木商として財を成すのは四十歳過ぎてから。その後、東廻り海運・西廻り海運を確立するのが五十年代半ば。その後も晩年まで多くの事業を成し遂げます。私もまだまだ頑張らねば！

前回、退職の報告をいたしましたが、今回も報告です(^-)-☆ その後、就職活動を経て、9月に無事に内定が決まりました。今は新しい職場で働いています。

退職後、何をしていたかと言いますと、少しの間ニートになって1人で海外旅行に…。と思っていたのですが、貯金が尽きることにビビって、すぐに就活してしまいました(^.^)

新しいお仕事は、WEB 雑誌の編集アシスタントです。佐賀県の魅力を発信するべく、県内の東西南北、端から端までとびまわっています!! 勤め先は変わってしまいましたが、文章で伝えるということは、この『ジキよまんば!!』を作ることに、通じるものがあるなと感じます。



人生初めての転職をしてみて、自分が知らなかった自分や、やっていたつもりで出来ていなかったことが、たくさん見えてきました。今思えば、在職中は渚野社長にご迷惑をかけたなあ、と…。(苦笑)

そして、理解していたつもりだったけど、

改めて分かったこと。それは、ここ渚野陶磁器原料は社員に対する待遇が、すごく良い職場だった!! それは、仕事の日や時間はきっちり決まっていて、土日祝日はいつもお休みな上、お盆と年末年始は長い連休もいただけて、残業手当、有給休暇、福利厚生が整っていましたし、佐賀市から離れているから通勤の渋滞もほとんどない。そして社長は従業員それぞれの声に耳を傾けてくれていました。

今回の転職は、こういうことに改めて気づけるいい機会だったと思います。

もちろん、今のお仕事に就けてよかったとも思いますよ!! 得ることもたくさんあるし、やりがいを感じています。この仕事じゃなかったら経験できないであろうことが沢山あり、そのすべてが貴重な経験です。

取材先では、いろんな人に出会い、当たり前ですが、同じような方は一人もいません。たった数か月だけでも頑固な私の世界が広がりました。これからもっともっと経験値を増やし、じゃりんこミホ、レベルマックスを目標に頑張ります!!

社長、ここを取材するときはよろしくお祈りします!! 吉村 美穂



今年は年女です!

今号の1枚

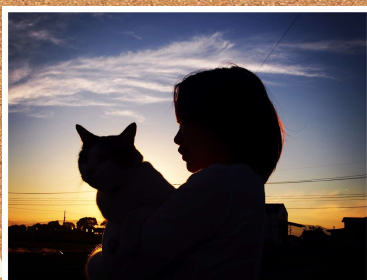
6 枚目

題名「妹と猫」

妹とうちの猫のシルエットを撮りました。しかし、題名にひねりが無い(笑)

最近。縁があって写真家の方と出会い、趣味だったカメラを勉強中です。難しいけど、楽しい!

撮影: 吉村 美穂



第15話

会長さんの昔話

私が中学校を卒業したのは60年近く前です。その頃の地域では高校への進学率が50%程度でした。ですので、中学の同級生の半分は就職をしていました。地元で仕事に就く者もいれば、集団就職で都会に出ていく者もいました。世の中は求職者の売り手市場でした。

その後、世の中の景気とともにわが社の生産量も増え、設備投資だけでなく労働環境の改善も少しは進み、昭和50年代には週休二日制の導入や、有給休暇の実施をしていました。それでも人手を確保することは

大変なことでした。ここ塩田は農業が盛んな地域でもありましたので、農繁期に人手が欲しいのは農業も同じ。その頃の農業は今以上に人手に頼っていました。うちの社員さんの多くが兼業農家でしたので、彼らも自分の田んぼの作業をしなければなりません。だから、農繁期は会社を休む人がたくさんいました。

少ない人員で目が回る思いをしながら工場の生産をしているそのときに、われわれからは有給休暇をもらい、尚且つ他人の田んぼで働き、二重に賃金を得ているその姿を本当に苦々しく思いました。うちよりも農業で支払われる日当の方が良かったので、結局厳しく咎めることはできず悔しいばかり。人手不足の状況では解雇など出来ませんでした。

●Youtube動画をチェック!

Youtube 渚野陶磁器原料

工場見学が動画で出来ます!



●編集後記●

社長の娘さん、かわいい!! 大人っぽーい!! それに比べ、当時の私は七五三…。この誌面で私も成人式のことを書きましたが、あれから3年。早いなあ。吉村

このニュースレターは、これまでご注文いただいた方、サンプルをお送りしました方、名刺交換をさせていただいた方など、ご縁がありましたみなさまにお送りしております。必要ない方は、たいへんお手数ですがその旨を下記までご連絡ください。

有限会社 渚野陶磁器原料

〒849-1426

佐賀県唐野市塩田町大字五町田乙287-1

T E L 0954-66-4207

F A X 0954-66-3747

E-mail info@fromform.jp

H P http://www.fromform.jp

